

使用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。



お子さまの急な発熱に

こどもパプロン坐薬

第2類医薬品
(解熱薬)

- ◆子どもの病気は発熱から始まるといわれるほど、もっとも一般的な症状です。
しかし、体力の消耗などをまねくおそれがあるので、熱を下げる事が大切です。
- ◆こどもパプロン坐薬は、お子さまの急な発熱を効果的に下げるお薬です。



使用上の注意

本剤は小児用ですが、解熱薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

① 次の人は使用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことのある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を使用してぜんそくを起こしたことがある人。

② 本剤を使用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬



③ 使用前後は飲酒しないでください

④ 長期連用しないでください



相談すること

① 次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者及び虚弱者。
- (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

② 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、下痢、軟便、便意
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

皮膚粘膜眼症候群
(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症

高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。

薬剤性過敏症症候群*

皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。

肝機能障害

発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

腎障害

発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

間質性肺炎

階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

ぜんそく

息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

- ③ 1回使用しても再度発熱した場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能

小児の発熱時の一時的な解熱

こんな時の発熱に



夜の急な発熱



食欲がない時



吐きやすい時



薬がのめない時

用法・用量

次の量を肛門内に挿入してください。

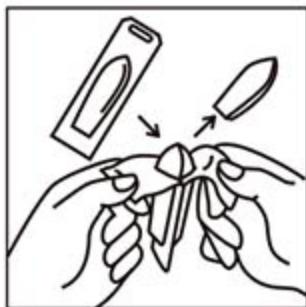
年令	6才～12才	3才～5才	1才～2才	1才未満
1回量	1～2個 1～2個	1個	1/2～1個 1/2～1個	使用しないこと
使用回数	1日1回			

[注意]

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3)本剤は、2日続けて使用しないでください。
- (4)本剤は肛門にのみ使用し、内服しないでください。

坐薬の上手な使い方

坐薬は、なるべく排便を済ませてから使いましょう。



先のとがった方から開いてください。

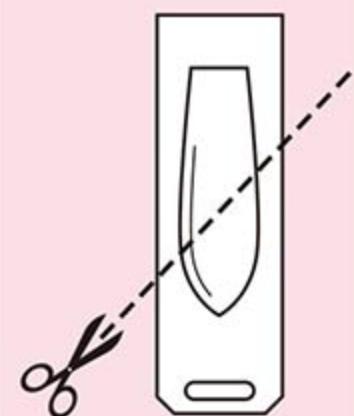


膝の上に腹ばいにして、お尻の奥まで差しこみます。



体は温かくし頭を冷やして、しばらく様子を見てあげてください。

1/2個の作り方



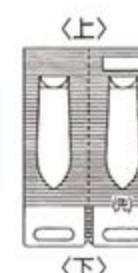
上の図を目安にカッター・はさみ等でななめに切れます。

成 分

1個(1g)中 アセトアミノフェン 100mg
添加物：ハードファット

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4)右図のように坐薬の先を下に向けて外箱に入れ、外箱のマークに従って立てて保管してください。
- (5)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべくはやく使用してください。(品質保持のため)



この製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

連絡先 大正製薬株式会社 お客様119番室

電話 03-3985-1800

受付時間 8:30～17:00(土、日、祝日を除く)

※受付時間の詳細は、大正製薬ホームページにてご確認ください



製造販売元
大正製薬株式会社
東京都豊島区高田3丁目24番1号
<https://brand.taisho.co.jp/pabron/>

マイランEPD合同会社 提携

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
電話 : 0120-149-931(フリーダイヤル)